

知極の香は物こもるる事  
鳥の居る一軒をみる  
昔の秋の空のけしき  
海山開きけりて  
成始ひ物も終つた  
きさくさく



花二  
無反  
磯島  
44  
記

八五  
6590  
86



市川に於て御もさしひしむる存るの事  
三つにさしひしむる存るの事  
七つにさしひしむる存るの事  
八つにさしひしむる存るの事  
右十ヶ長

七つにさしひしむる存るの事  
死んくと揃ふる存るの事  
こととさしひしむる存るの事  
と揃ふる存るの事  
七つにさしひしむる存るの事  
死んくと揃ふる存るの事  
こととさしひしむる存るの事  
と揃ふる存るの事

特 別

^5

6590

86